

御影北小学校の5年生に砂防授業

～御影北小学校出前講座～

～近畿地方整備局 六甲砂防事務所～

神戸市立御影北小学校5年生のみなさんに、防災教育の一環として、六甲山地で土砂災害が起きやすい理由や災害の歴史、現在の砂防の取り組みについての講義と、模型による土石流実験を行いました。

概要

日時：平成26年2月7日（金）

9:45～12:25

場所：神戸市立御影北小学校

参加人数：約160名

主催：神戸市立御影北小学校



御影北小学校から見える天狗塚えん堤

○過去に起こった土砂災害と、身近にある砂防えん堤について説明

六甲山地の土砂災害と砂防の取り組みの講義では、六甲山地では古くから土砂災害が起こっており、学校のそばを流れる石屋川でも阪神大水害（昭和13年）時には土石流が発生して、阪急電鉄



六甲山地の土砂災害と砂防の取り組みの講義



土石流実験

の線路や住宅などに多数の被害があったことを説明しました。また、阪神大水害以降、六甲山地では砂防事業が行われていて、教室から見える場所にも砂防えん堤がある事を紹介すると、身近にあった砂防えん堤に驚かされていました。

土石流実験では、砂防えん堤があるとなぜ土石流による被害を抑えることができるのかを、実験を見てもらいながらわかりやすく説明しました。

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
TEL：078-851-0535

